



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき かつとし 俊一

2011年1月16日 No.736

事務所:品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

下神明駅 エレベーター 設置へ

住民歓迎! 3月末までに工事開始

写真は東急大井町線下神明駅。狭いなど構造上の問題から、品川区内では唯一エレベーター・エスカレーターが設置されていない駅です。



東急大井町線下神明駅へのエレベーター設置工事がようやく今年度中に着手することになりました。利用者・地域住民は歓迎しています。日本共産党は、工事にあわせて、ホームからの転落防止「可動柵」の設置を東急電鉄の担当課長に要請しました。

高齢者や障害者をはじめ誰も使いやすい公共交通機関や建築物の整備促進をめざすバリアフリー新法では、2010年末までにエレベーターの設置で「段差」をなくすことが義務付けられています。区内35駅のうち下神明駅だけがエレベーター設置が遅れていましたが、ようやく実現することになりました。

しかし、バリアフリー新法は「段差」をなくすものの、ホームの転落防止「可動柵」設置は義務化されていません。これまで私(みやざき)は「可動柵」の設置促進を議会で取り上げてきましたが、今回の下神明駅エレベーター設置工事にあわせて「可動柵」も設置するよう東急電鉄に直接要請しました(ウラ面に詳報)。

転落防止 対策を

ホームへの「可動柵」 共産党が東急に要望

共産党は、大井町線への急行乗り入れ(08年)の際にも東急電鉄に対して警備員の配置など安全対策を要望しました。今回はホームからの転落防止「可動柵」の設置など地域住民から寄せられた要望の実現を要請しました。



鉄道のホーム可動柵を調査する視
力障害者の方々(全視協HPより)

東急電鉄への要請は、エレベーターをどこに設置しホームはど

うなるのか、ホーム下通路は通れるかなど下神明駅の具体的な工事計画を知りたいとの質問や、「せっかく工事するならホームに転落防止の『可動柵』をつけてほしい」という地域住民から寄せられていた要望をまとめたもの。昨年12月16日に行った東急電鉄への要請には地元の共産党支部のメンバーと私(みやざき)が参加し、東急電鉄からは下神明駅改修の担当課長ら3人が対応しました。

要請内容は、下神明駅のエレベーター設置の設計など内容説明とあわせて、①設計を決定する前に、地域住民への説明会を早期に開催し、住民の要望を聞いて可能なものは設計に反映すること。②下神明駅はホームの幅が狭いため、エレベーター、エスカレーターを設置とホームからの転落防止のホーム可動柵を設置すること。③ホーム可動

「要請受けました」担当課長

対応した下神明駅改修の担当課長は、「現在エレベーター設置の設計は検討中。発表できる

段階ではない」としながらもエスカレーター設置の要請に対しては「要望に応えられるか検討している」との説明でした。

また、踏切の安全対策については「検討する」。さらに、ホームからの転落防止「可動柵」の設置の要望については、「可動柵」

柵は、大井町線はじめ全駅での設置を早急にすすめること。④戸越公園駅前など踏切の安全対策を強化することの4項目です。

はバリアフリー新法の対象外であるが「要請は受けました」とのべました。

ホーム可動柵は、視覚障害者団体などからの強い要望がありJR東日本は山手線全駅への設置を発表しています。東急は一部の駅への設置が始まっていますが、大井町線各駅への設置計画はありません。共産党は重ねて設置を要請しました。

困り
のときは
お気軽に
ご相談ください
みやざき克俊事務所
TEL 3786-6674
法律相談は毎月開催